

2021 年度 事業報告書

(2021 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日)

1. 自立奨学支援事業

(1) 制度について

多くの子ども達が本財団の支援制度に期待している実態より、当初枠 200 名にはがき枠 1 名を加え、支援者総数を 201 名とした。

(2) 応募状況

9 月作成の「未来のつばさ自立奨学支援制度」応募要項を全国の児童養護施設、児童相談所、社会福祉協議会等へ発送し同様に財団ホームページに掲載した。応募申請は 11 月より受付を開始し、締切を 12 月 20 日とした。応募者数は自立（就職）希望者が 231 名、奨学（進学）希望者が 470 名、障がい児 42 名、合計 743 名で、過去最高人数となり支援率は 27%となった。

(3) 審査体制

12 月 16 日に開催された第一回選考委員会にて選出された審査委員による第 1 次審査は、本年度もコロナ渦、特にオミクロン株の急激な拡大のなか、当ビル会議室を審査場所に設定、1/11～1/27 の毎週火曜～木曜日の 9 日間に限定し、感染対策を講じながら集中審査を行った。審査方法も昨年と同様、一人の審査員が一人の申請者を審査する「単独審査」により行った。

【第一次審査】

審査期間	構成員	人数
1 月 11 日～27 日 (内 9 日間)	財団関係者	4 名
	協力員	3 名
	楽天生命ボランティア	29 名
計		36 名

【2次審査】：第二回選考委員会

審査日 ： 2 月 3 日

審査員 ： 選考委員 7 名

合格者の選出は、就職・進学・障がい者の支援率が同率となるよう、支援当初枠(200 名)と応募者数(743 名)の割合(26.92%)に相当する人数を各審査員の審査評価の上位から選出することとした。ただし、障がい者の合格ラインに当初枠より多い

12 名が残ったため、超過分 1 名は、はがき枠を適用し、障がい者支援数を 12 名とした。

(4) 選考結果

本年度は当初計画（200 名）に「書き損じはがき」寄付枠 1 名を加え、201 名を支援該当者とした。

	応募者数	支援予定者	はがき枠	支援者総数	支援率
自立（就職）者	231 名	62 名		62 名	27%
奨学（進学）者	470 名	127 名		127 名	27%
障がい者	42 名	11 名	1 名	12 名	29%
合計	743 名	200 名	1 名	201 名	27%

(5) 「未来のつばさナビ」贈呈

自立奨学支援制度の支援者を対象として贈呈している「未来のつばさナビ」は好評を博し、今年度も支援者へ贈呈した。自立生活に役立つ情報を 32 ページの冊子にまとめたもので、10 月に対象者へ発送したほかに、今年度も引き続き財団ホームページに掲載した。

(6) 支援金送金

2 月 7 日に第 5 回理事会を開催し、2 月 15 日から可否通知の発送を開始し、年度内に 201 名のうち 3 名の辞退者を除く 198 名に支援金を送金した。

2. 団体支援事業

(1) 事業の広報と推進

2020 年度第 8 回理事会にて決定された 2021 年度予算に基づき、例年通りの支援規模である支援金額上限 30 万円、支援件数を年間 12 件とし地域の少額な活動を対象とした。また、前期は当年事業、後期は当年事業または来年度事業を対象とした。受付を 2 期（前期 4 月～5 月、後期 9 月～10 月）に分け受付を行った。

2021 年度は、コロナ禍での活動を余儀なくされ、応募件数も少なく、前期は 0 件、後期は 2 件を受理した。

(2) 選考（審査）

選考手順	審査責任者	審査方法
第 1 次（受付票）	事務局	実施要項規程の対象事業、申請条件の適正を確認し、所定の申請書関連書類の送付
第 2 次（審査票）	理事、監事	審査基準による審査で適合案件を全役員へ回送し、

		審査を仰ぐ
最終	理事会	役員審査により支援団体と支援金額の最終決議を行う。

(3) 支援状況

後期の応募 2 件に対し、審査を行った結果、事業内容が当財団の要綱の主旨と合わず、12 月 2 日の理事会みなし決議により 2 件とも支援しないこととした。

よって、2021 年度は前期・後期合わせて支援件数は 0 件であった。

3. 広報活動事業

(1) 広報誌「未来のつばさ」

冬号を 12 月に発行した。計 3600 冊を、全国の児童養護関連施設、里親会、社会福祉協議会、行政の児童養護関連部署、児童相談所、寄付者（個人・団体）、団体向け支援事業の過去 1 年の支援団体、財団役員等関係者へ送付した。

(2) メールマガジン「つばさニュース」

「つばさニュース」は、登録者 190～200 名で推移した。2016 年 8 月 12 日より毎月財団の活動等を配信している。メルマガ案内をチラシや広報誌に掲載し広報をすすめた。

12 月からの発刊は、コロナ禍での自立奨学支援事業の受付・審査の開始に伴い、審査件数の増加に対応した審査体制の構築など、事務局業務が繁忙を極めることが予測されたため、休止することとした。

メルマガ登録者数

		合計
	日付	人数
第 57 回	4 月 9 日	191
第 58 回	5 月 14 日	193
第 59 回	6 月 11 日	194
第 60 回	7 月 9 日	195
第 61 回	8 月 11 日	196
第 62 回	9 月 10 日	199
第 63 回	10 月 8 日	202
第 64 回	11 月 11 日	205

(3) オレンジリボン配布

子供虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを作成しオレンジリボン運動を応援する試みを行った。今年度も引き続き領収証に同封し寄付者へ発送した。

(4) その他

各種データベース掲載更新や地域の広報誌の助成金情報掲載等、財団事業の広報活動を行った。

4. 組織運営

(1) 各種委員会開催状況

開催日	委員会名称	審議事項
4月9日	第1回理事会	理事長の選定決議
5月13日 5月20日	会計監査会 第2回理事会	2021年度事業及び決算報告の監査 ① 2021年度事業報告書と決算報告(案)の承認 ② 新理事・監事候補者選出の件 ③ 2021年度定時評議員会開催承認
6月10日 6月24日	定時評議員会 第3回理事会	① 2021年度事業報告及び決算報告の承認 ② 新理事・監事選任の件 ① 任満了に伴う諮問委員の選任決議 ② 任満了に伴う選考委員の選出決議 ③ 理事長(代表理事)および専務理事(業務執行理事)の選定決議
12月2日 12月16日	第4回理事会 第1回選考委員会	団体向け支援事業(プロジェクト支援事業)2021後期最終選考決議 ① 2021年度自立奨学支援制度の確認 ② 2021年度選考スケジュール確認 ③ 2021年度審査会設置承認
2月3日 2月7日	第2回選考委員会 第5回理事会	2021年度自立奨学支援応募の最終選考 2021年度自立奨学支援事業 支援者の確定 報告事項: ①内閣府の立入検査について ②2022年度予算の基本的考え方 他
3月11日	第6回理事会	① 2022年度事業計画及び収支予算 ② 事務局長の選任について

*審議事項は、主要な議案を記載した。

(2) 今年度の自立奨学支援事業の審査体制などについて

本年度は、昨年度と同様、単独審査となったが、2年ぶりに審査委員が当ビル会議室に一堂に会し、審査を行った(前述)。これに先立ち11月の内閣府の立入検査での内閣府からの依頼事項として、審査委員・選考委員には法人(楽天)関係者以外のメンバーを過半数入れるべきとの努力要請があった。今年度は既に選考事務を進めていたことから、内閣府の理解を求めつつ、審査の過程で楽天とは関係のない理事や協力員の参画を得て進めた。審査体制の検討は2022年度に行う。

また、毎年行われている「書き損じはがき」収集活動も楽天生命保険株式会社の代理店の皆様を中心にお寄せいただき、自立奨学支援の貴重な財源となった。今後も多くの方々へ呼びかけ、誰もが参加できる財団運営を目標としたい。

2021 年度 事業報告の附属明細書

2021 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 楽天 未来のつばさ